



# 令和3年度 学校安全総合支援事業 ～松崎町～



松崎町教育委員会

# 松崎町の紹介



## 松崎町の特徴

- 伊豆西海岸に位置する
- 日本で一番美しい村
- 海、山など豊かな自然
- ジオパークに指定
- 学問・文化的な風土
- 伝統的行事の継承
- △静岡県で最も人口の少ない町、高齢化
- △沿岸部の住居が多く、津波や高潮の危険
- △土砂災害の危険



国指定重要文化財「岩科学校」



伊豆の長八美術館



ジオサイト「弁天島」

# 松崎の教育について

## 「松崎の教育」

【松崎町の教育目標】

「心に残る教育の充実を図り、  
未来を担う心豊かな人を育む」

## 松崎幼小中の連携

松崎中学校を拠点校にした取組



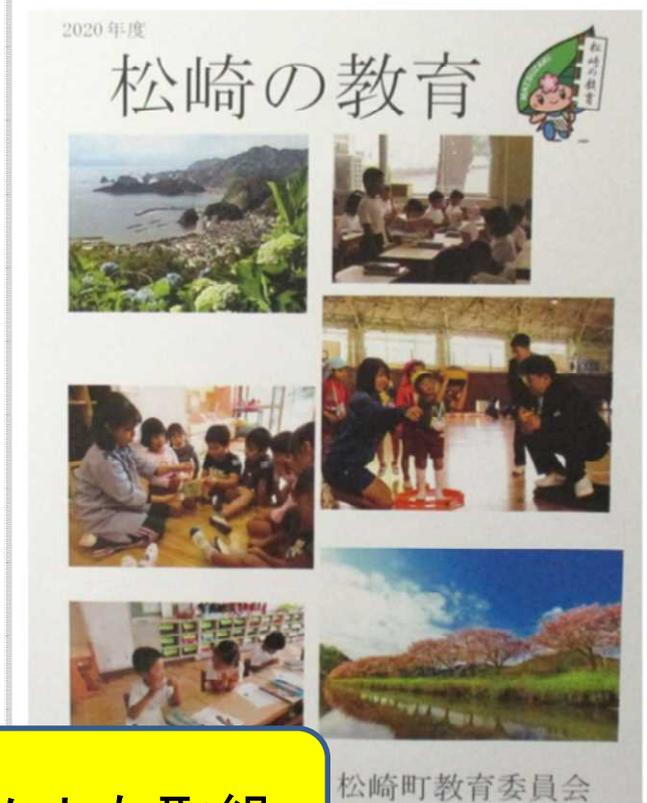
松崎幼稚園



松崎小学校



松崎中学校



# 松崎の教育について

## 松崎幼・小・中 教職員のクレド

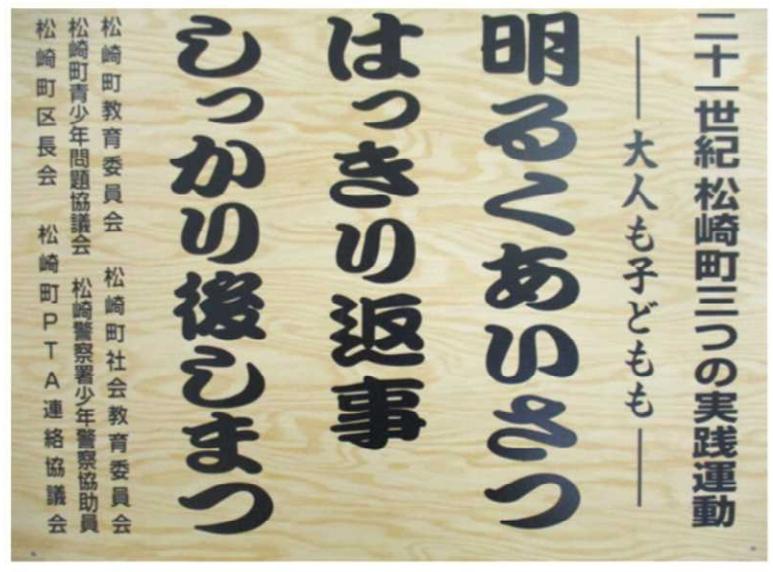


米とロマンの里

### 松崎町の幼・小・中教職員のクレド

- 私たちは、子どもの思いを誠実に受けとめ、努力し伸びようとする子供たちを育みます。
- 私たちは、信頼され応援していただける園・学校づくりをめざします。
- 私たち教職員は、お互いのよさを発揮し、協働して、松崎の教育を高めていきます。

重要文化財 岩科学校



二十世紀松崎町三つの実践運動  
—— 大人も子どもも ——  
明るくあいらず  
はつきり返事  
むっかき後こまつ

松崎町教育委員会 松崎町社会教育委員会  
松崎町青少年問題協議会 松崎警察署少年警察協働員  
松崎町区長会 松崎町PTA連絡協議会

## 21世紀松崎町 3つの実践運動



# 松崎の教育について

## 令和3年度の重点取組

- **コロナ対応 → 「迅速に、的確に、組織対応」**
- **G I G Aスクール → 「主体的・対話的で深い学び」**
- **学校安全総合支援事業の充実 → 「心の育成」**
- **2030松崎を考える  
→ 「将来の松崎を担う人材育成」**

# 事業目標

・児童生徒が自分の命を守ることについて、自分で考え、自分で行動する力を育成するとともに、共助に対する意識の向上を目指す。

## ○児童生徒の安全意識の向上

・防災道徳を中心に防災について考える  
→児童生徒が主体的に動く力の育成

## ○教員の資質向上

・町一貫研での研修、防災道徳の実践  
→新たな取組を通して視野を広げる

## ○安全教育体制の構築

・地域防災訓練への参加、学習成果の伝達  
→学校から地域へ防災の輪を広げる



# 具体的な取組について

- 1 松崎中学校の取組
- 2 松崎小学校の取組
- 3 松崎幼稚園の取組
- 4 交通安全に関する取組
- 5 教育委員会の取組

# 取組1：松崎中学校の取組

## 実践1：災害時判断ゲーム



対象：中学1年生

進行：静岡県賀茂地域局

○児童の安全意識の向上

○教員の資質向上



①個人で考える

②グループで交流



# 取組1: 松崎中学校の取組

## 実践2: 避難所運営訓練



対象: 中学1年生  
進行: 静岡県賀茂地域局  
協力: 静岡大学の学生  
町防災課

○児童の安全意識の向上



町・大学生との連携



# 取組1：松崎中学校の取組

## 実践2：避難所運営訓練

難しかったけど楽しかった

避難所運営なんて考えたこともなかった

自分たちにできること・共助の意識

荷物運びはできそう

小さい子に優しくしたい

# 取組1：松崎中学校の取組

## 実践3：防災道徳研修

### 質問1

休日の外出中に大地震がきたらどうするか

### 質問2

家に足の不自由な祖母、小1の弟(妹)がいるが助けに行くかどうか

対象：松崎中学校2年生  
松崎中学校教員

- 生徒の安全意識の向上
- 教員の資質向上



# 取組1：松崎中学校の取組

## 実践3：防災道徳授業研修



### 質問2

家に足の不自由な祖母、小1の弟(妹)がいるが助けに行くかどうか

日頃から避難訓練に参加し、避難場所を確認、練習をしておく

緊急時のことを家族で話し合っておく

## 事後研では…

- ・場面理解がどうだったか
- ・まとめ方がどうだったか



# 取組2: 松崎小学校の取組

## 実践1: 防災道德研修

(東日本大震災のある記事から)  
ライフラインが途絶して孤立が続く宮城県南三陸町歌津地区では、横転した状態で放置された車の前に四、五人の男性が集まり、ポンプでガソリンを抜き取っていた。五十歳の男性は、「泥棒(どろぼう)みたいなことをしてためらいはあるが、子供やお年寄りにつらい思いをさせたくない。命のガソリンだ。」とつぶやいた。

対象: 松崎小6年1組  
松崎小学校教員

- 児童の安全意識の向上
- 教員の資質向上



# 取組2: 松崎小学校の取組

## 実践1: 防災道德研修



対象: 松崎小6年1組  
松崎小学校教員

- 児童の安全意識の向上
- 教員の資質向上



# 取組2: 松崎小学校の取組

## 実践2: 総合的な学習の時間(防災教育)



対象: 松崎小4年生

進行: 賀茂地域局

町防災係(起震車)

○児童の安全意識の向上



# 取組2: 松崎小学校の取組

## 防災学習の感想



- ・地震はすごく怖いけどちゃんと備えておけば命を守れる。
- ・家の非常食やラジオを確かめたいと思いました。
- ・地震はいろいろなものが使えなくなるから簡単に食べられるものを用意しておきたい。
- ・津波は速いから、とにかく高いところへ逃げることが分かった。
- ・事前に避難する場所を決めておきたい。

- ・本当に身動きが取れなくなった。
- ・実際に震度7みたいな地震が起きたら動けなくなることが分かった。
- ・緊急地震速報を聞いたらすぐに身を守る動きをしたい。
- ・揺れているのを見てすごくこわかったし不安になった。



# 取組2: 松崎小学校の取組

## 実践2: 総合的な学習の時間(防災教育)



対象: 松崎小4年生  
進行: 賀茂地域局  
協力: 町防災係  
静岡大学学生

○児童の安全意識の向上

- ・いざというとき食料がありそうな場所がないかもしれない。
- ・お店がたくさんあっても津波で全部流されてしまうんじゃないかな。
- ・地域に安全な場所が少ないな。
- ・地震でブロック塀などが倒れるかもしれないから、この通りは注意しなきゃ。



# 取組2: 松崎小学校の取組

## 実践3: 下校時避難訓練



対象: 松崎小全児童  
進行: 松崎小学校教員

○児童の安全意識の向上



# 取組2: 松崎小学校の取組

## 実践4: AR体験



対象: 松崎小4、6年生  
進行: 松崎小学校教員

○児童の安全意識の向上



# 取組3：松崎幼稚園の取組

## 実践1：AR体験



対象：松崎幼稚園年長児  
年長児担任  
進行：園防災担当

○児童の安全意識の向上



### 【園児たちの感想から】

- ・物が流れてきてこわかった。
- ・すぐにお友達が水の中に入っちゃった。
- ・先生も水の中だ。
- ・家でもしっかり(訓練を)やりたいと思いました。
- ・津波が来る前に逃げないって思いました。

# 取組3：松崎幼稚園の取組

## 実践2：防災講座



対象：松崎幼稚園全園児  
幼稚園教員  
進行：賀茂地域局

○児童の安全意識の向上



身を守る動き



走って逃げる動き

# 取組4：交通安全に関する取組

## ○交通安全教室(幼稚園、小中学校)

- ・幼稚園では歩行についての指導
- ・小学校では自転車の実技指導
- ・中学校では講義による指導

## ・臨時の交通安全教室の実施

## ○地区児童会(小学校)

- ・交通安全リーダー(6年生)の進行
- ・地区の危険箇所、長期休業前の注意事項の確認

**6年生の姿を継承**

# 取組5: 教育委員会の取組

## 実践1: 幼小中一貫研(防災研修会)



対象: 松崎幼小中教員  
進行: 教委指導主事  
協力: 町防災係  
賀茂地域局

○教員の資質向上



# 取組5:教育委員会の取組

## 実践2:防災講演会



対象:松崎小4、6年生、  
松崎小学校教員  
町内幼小中保護者  
防災士、町防災係

○児童の安全意識の向上  
○安全教育体制の構築



# 取組5: 教育委員会の取組

## 【児童から】

- ・車の中に残っていて津波に流された話をし、逃げる場所の確認をした。
- ・実際に被災した人の話を聞き、自分の身は自分で守ろうという意識が高まった。
- ・家族で、どこに避難するか確認した。「ぜったいにもどらない」ことを約束した。
- ・津波の他にも、火災や土砂崩れなども考えられるので気をつけたい。
- ・講演の内容をメモしたノートをもとに、山田町の被害や、最善を尽くすことなどについて伝えた。

## 【保護者・参加者から】

- ・誰もが家族を守りたいと思いますが、「自助」「共助」「公助」を今一度家族で話し合い、備えたいです。
- ・こういったお話を聞ける機会はなかなかないのでとても勉強になりました。
- ・まず思ったことは、いつ今の幸せが崩れてしまうか分からないので、日々子供たちに優しくしようという今への感謝です。
- ・幼稚園や学校へ行っているときは先生方にお任せすること、自分たちの身は自分で守ることを強く教えていこうと思いました。
- ・実際体験したお話を聞いて、災害の恐ろしさを再認識し、少し甘くなりつつある備えをしっかりとしようと思いが引き締められました。
- ・家族でも「てんでんこ」を合言葉にまずはそれぞれ逃げることを共有していきます。

# 取組5:教育委員会の取組

## 実践3:実践委員会の開催

対象:松崎小中中核教員  
松崎小中学校長  
幼稚園防災担当  
町防災係、  
教育委員会

- 教員の資質向上
- 安全教育体制の構築

リモート開催



# 成果と課題

## 成果

- ・昨年度に引き続き本事業の指定を受け、新たな取組の実施や、関係機関と連携により防災教育に取り組んだことで、教員や子供たちの安全意識の向上が実感できた。
- ・防災道徳で災害場面をイメージしながら考えることを通して、子供たちが防災をより身近なものとして捉えるようになってきた。
- ・各種の防災学習、交通安全教室がそのときだけのイベントとならず、継続した取組になるよう、教員が日常的に子供たちへの働きかけができるようになってきている。

# 成果と課題

## 課題と今後の見通し

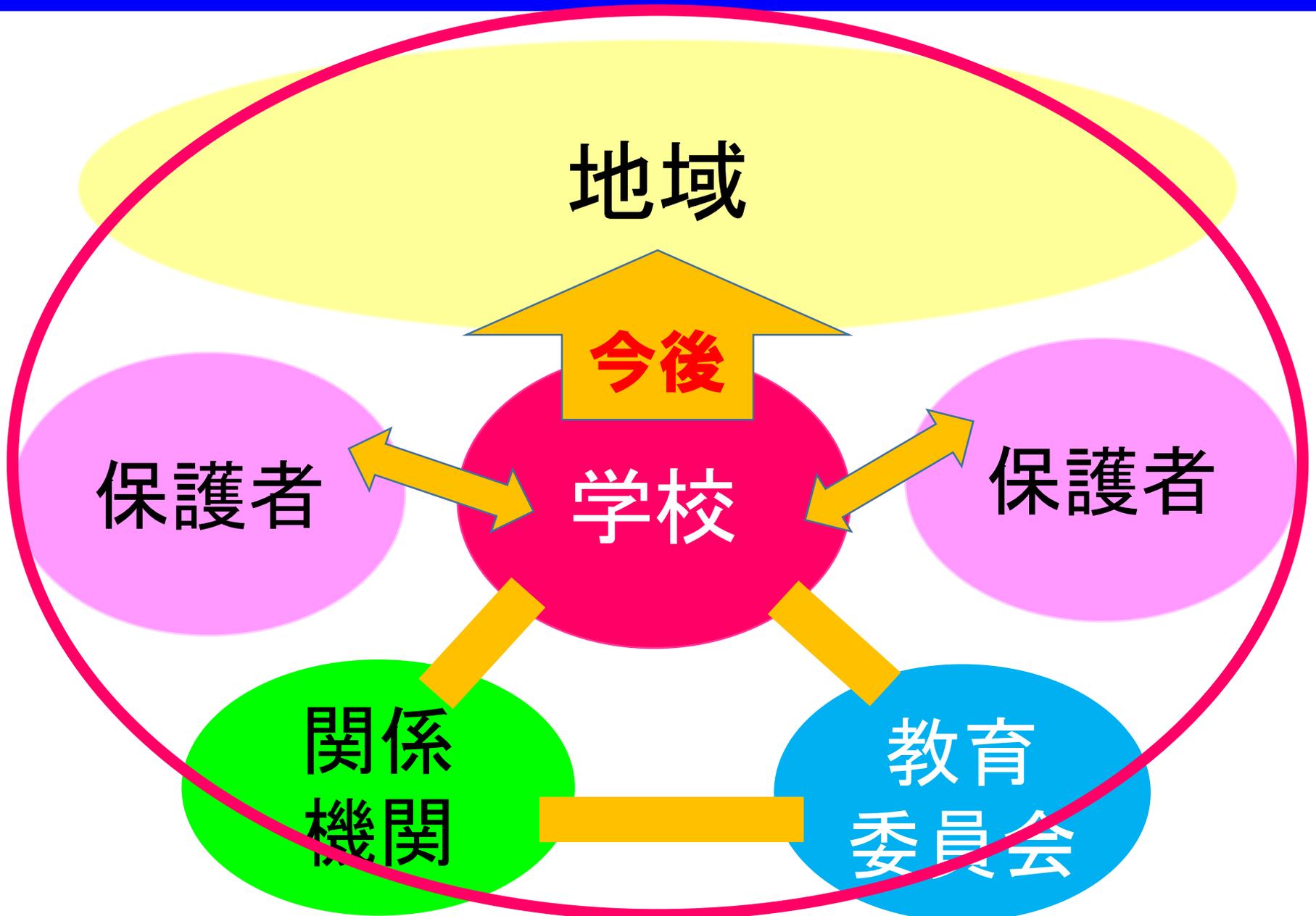
### 【課題】

- ・コロナ禍において、学校と地域の連携を推進することができなかった。新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を含めて、防災学習における地域との関わり方を考えていきたい。
- ・防災道徳を実践したが、研修の場の確保やさらなる充実に向けた支援体制を考えたい。

### 【今後の見通し】

- ・学習の成果物や本事業の取組について、町民に情宣していく。
- ・防災道徳について本年度の成果と課題を明確にし、来年度の研修につなげる。
- ・各校の年間計画に各種の取組を位置づけ、見通しを持った活動となるように情報交換をする。
- ・町や地域と連携し、町全体での安全体制の構築を図る。

# 成果と課題



## 松崎町の教育目標

「心に残る教育の充実を図り、  
未来を担う心豊かな人を育む」



ありがとうございました。